水源の状況と天候の見通し

（７月～９月）

１　東海地方の天候（６月）..... 1
２　ダム地点の降水量（６月）..... 1
３　水源の状況と天候の見通し..... 2
（１）水源の状況..... 2
（２）東海地方の３か月予報（７月～９月）..... 4

平成 28 年７月６日

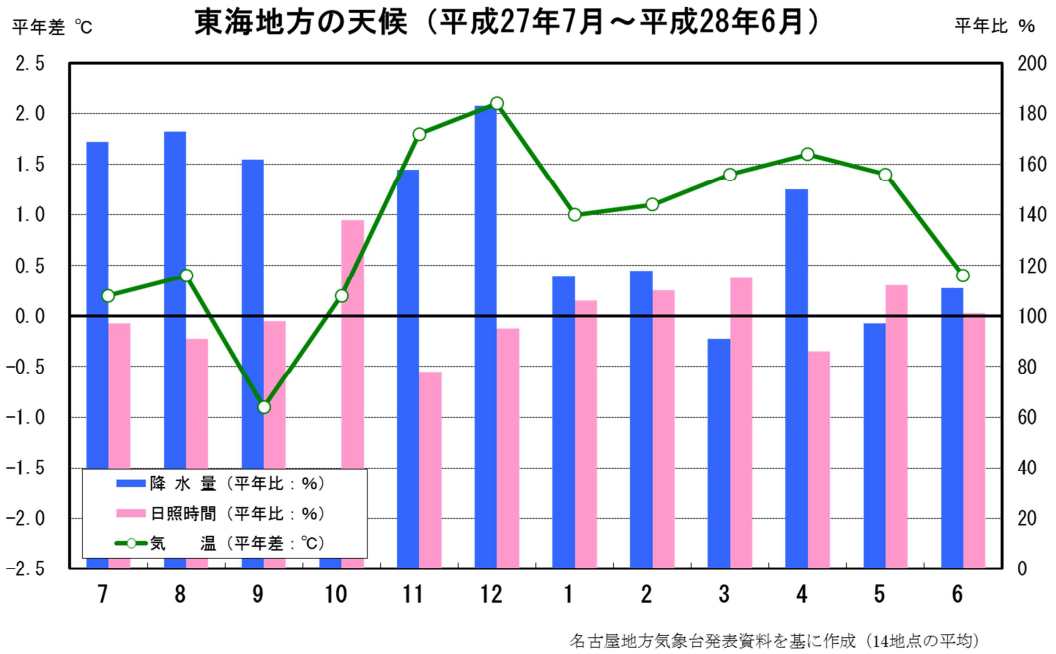
（公財）愛知・豊川用水振興協会
（http://www.aitoyo.or.jp/）

１　東海地方の天候（６月）

梅雨前線が日本の南から西・東日本付近にかけて停滞したため、梅雨前線や低気圧の影響を受けやすく曇りや雨の日が多くなりました。下旬には、日本の南から沖縄付近へ張り出した太平洋高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が流れ込み、梅雨前線の活動が活発となって大雨の降った所がありました。なお、東海地方は６月４日ごろに梅雨入り（速報値）したと見られ、平年より早い梅雨入りとなりました。

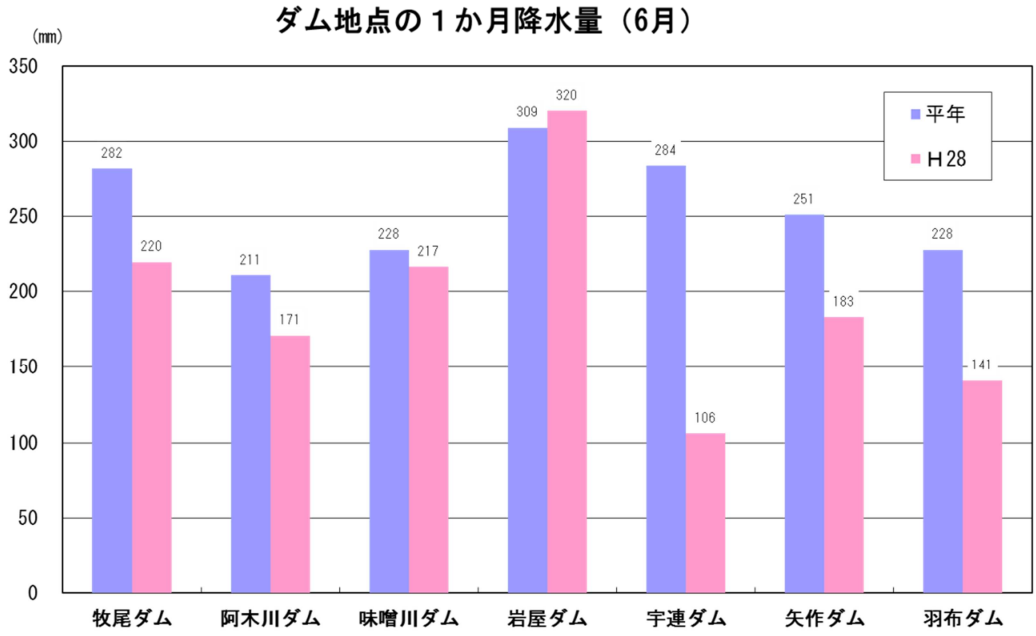
月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「平年並」となりました。

（名古屋地方気象台　平成 28 年 7 月 1 日発表資料を基に作成）



２　ダム地点の降水量（６月）

ダム地点の１月の降水量は、７地点の平均で平年比 76%となりました。



3　水源の状況と天候の見通し

（1）水源の状況

平成 28 年 6 月 30 日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3 か月予報)［月 1 回更新］

「あいとよネット」で検索
(http://www.aitoyo.or.jp/)

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

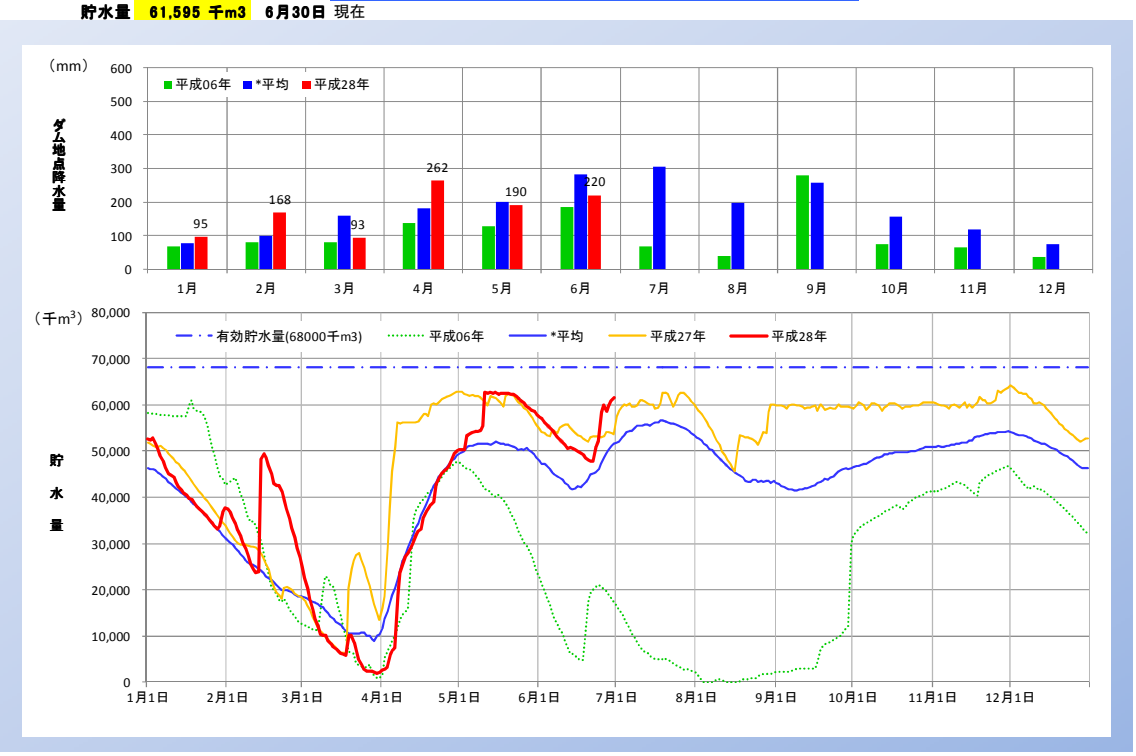
H28.6.30

水　　源	利水容量（千m3）	貯 水 量（千m3）	**貯水率（%）**	平年貯水率（%）	平年との差（%）
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	61,595	**90.6**	75.9	＋ 14.7
阿木川ダム	22,000	20,968	**95.3**	89.0	＋ 6.3
味噌川ダム	31,000	31,000	**100.0**	96.6	＋ 3.4
岩屋ダム	61,900	61,900	**100.0**	92.3	＋ 7.7
豊川水系					
宇連ダム	28,420	17,785	**62.6**	72.3	△ 9.7
豊川用水全体	51,820	39,266	**75.8**	79.3	△ 3.5
矢作川水系					
矢作ダム	50,000	42,200	**84.4**	80.2	＋ 4.2
羽布ダム	18,461	17,363	**94.1**	74.6	＋ 19.4

注）貯水率は、当日の24時（木曽川・豊川）または9時（矢作川）の値
　　貯水量曲線は、ホームページに別途掲載
　　http://www.aitoyo.or.jp/tyosui.html

牧尾ダムの貯水量曲線

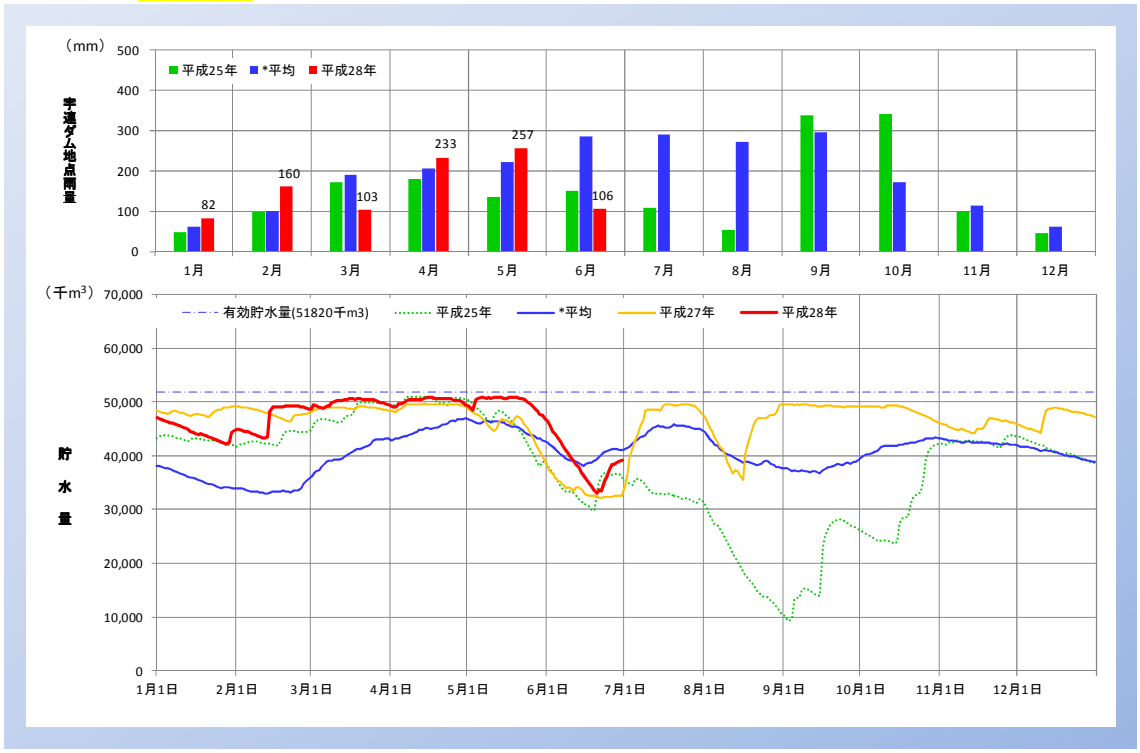
貯水量　61,595 千m3　6月30日 現在



*平均：昭和37年1月から平成27年12月
（データ提供：独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所URL http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/）

豊川用水全体の貯水量曲線

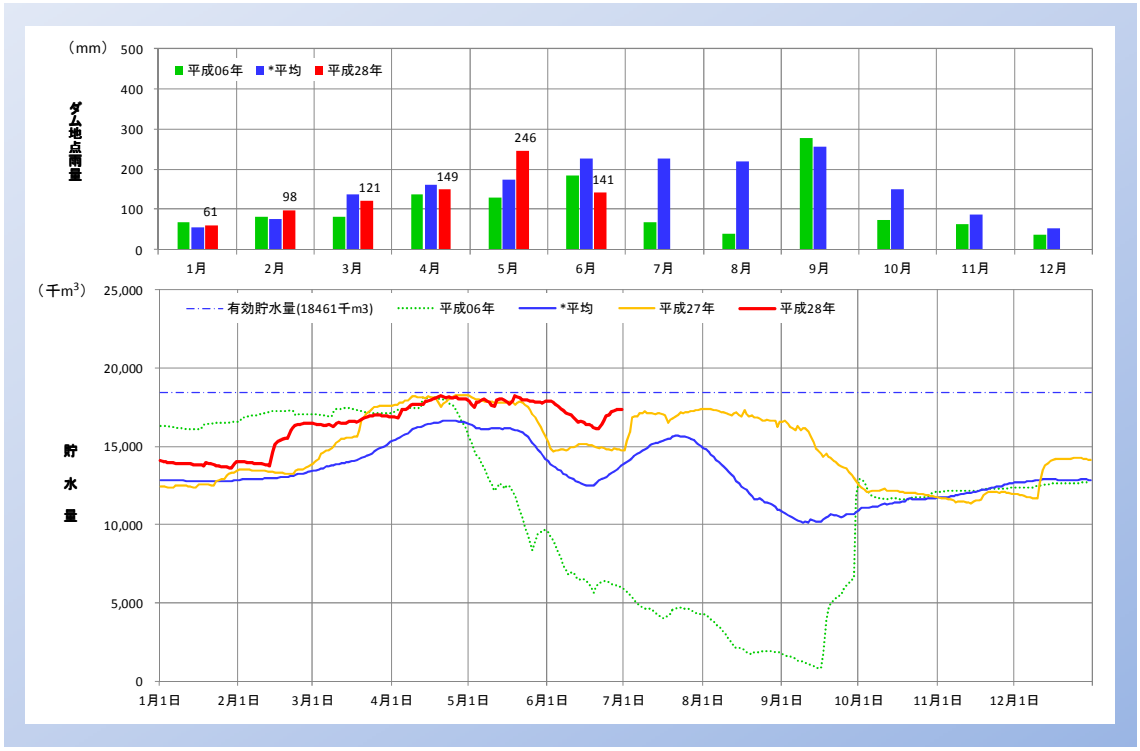
貯水量 39,266 千m3 6月30日 現在



*平均：平成14年4月から平成27年12月（雨量は昭和43年4月から平成27年12月）
（データ提供：独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/）

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 17,363 千m3 6月30日 現在



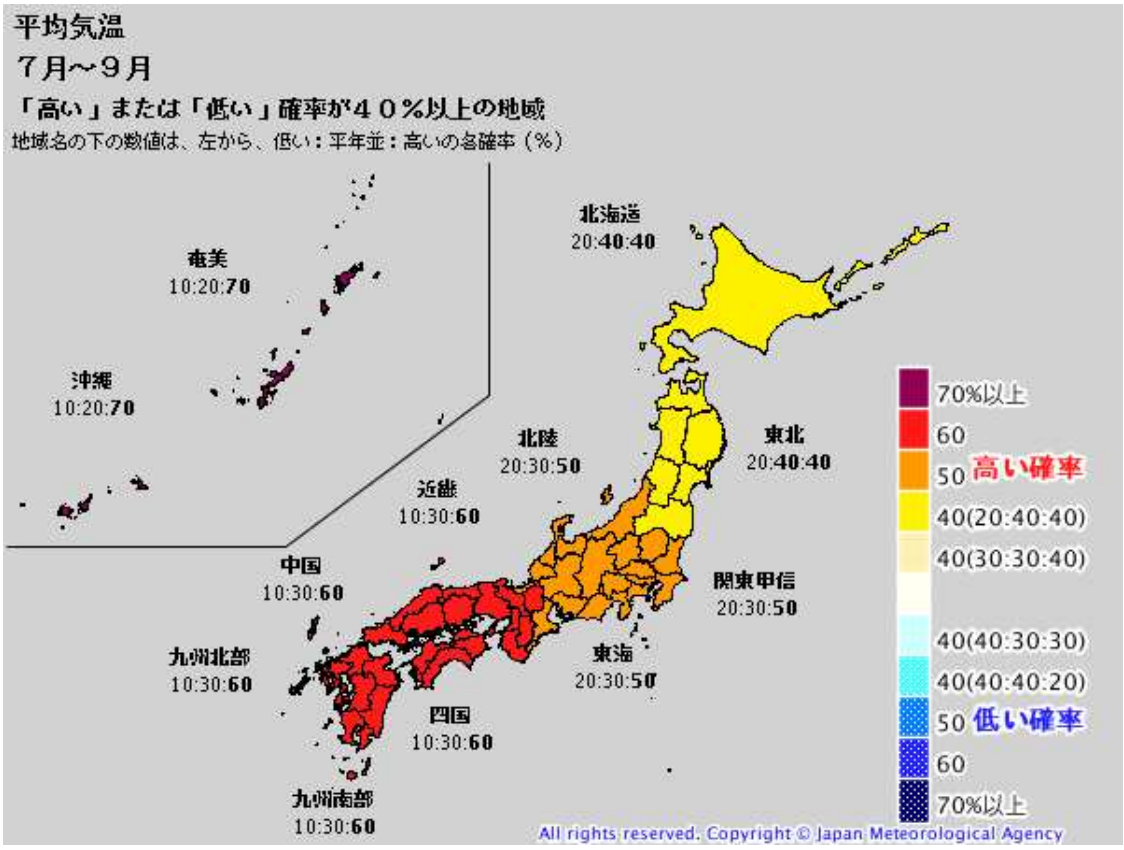
*平均：昭和39年1月から平成27年12月
（データ提供：愛知県西三河農林水産事務所用水管理課）

（２）東海地方の３か月予報（７月～９月）

（名古屋地方気象台 平成 28 年 6 月 24 日発表資料を基に作成）

① 気温

東海地方の３か月全般（７月～９月）の平均気温は、下図のように、低い確率が 20%、平年並が 30%、高い確率が 50%の予報となっています。

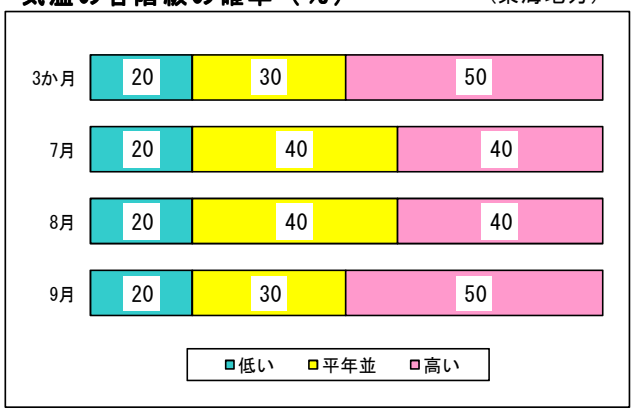


同様に、７月から９月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、３か月全般で[+3]、７月と８月は [+2]、９月は[+3]となります。

気温の各階級の確率（%） （東海地方）

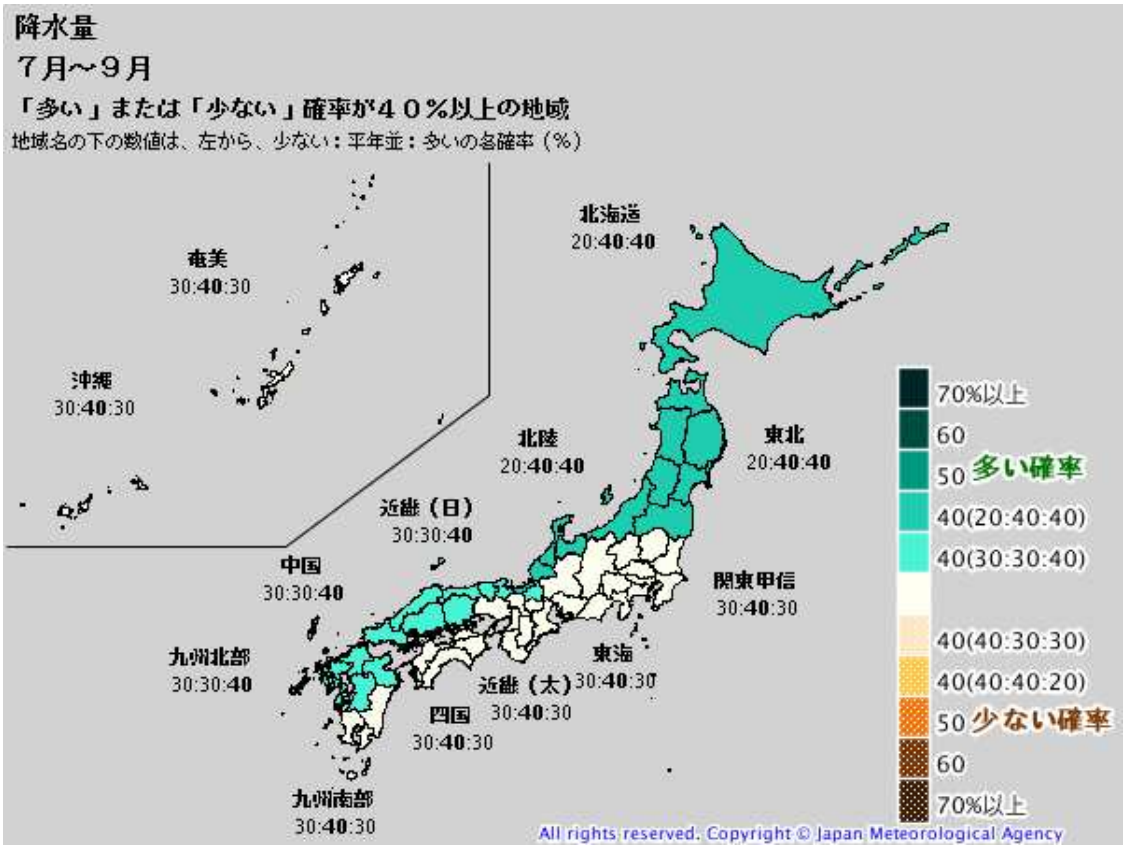


各階級の確率と等級 （東海地方）

気　温	等　級		予報確率	3か月	7月	8月	9月
高　い	+5		:　:70				
	+4		:　:60				
	+3		:　:50	●			●
	+2		20:40:40		●	●	
	+1		30:30:40				
平年並	0						
低　い	−1		40:30:30				
	−2		40:40:20				
	−3		50:　:				
	−4		60:　:				
	−5		70:　:				

② 降水量

東海地方の３か月全般（７月～９月）の降水量は、下図のように、少ない確率が 30%、平年並が 40%、多い確率が 30%の予報となっています。

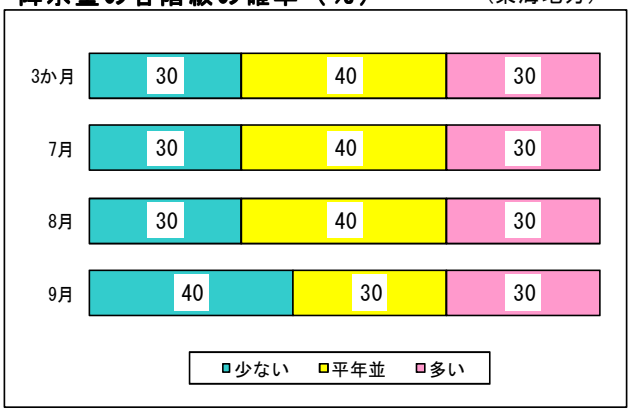


同様に、７月から９月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、３か月全般で平年並、７月と８月は平年並、９月は[−1]となります。

降水量の各階級の確率（%）　（東海地方）



各階級の確率と等級　（東海地方）

降水量	等　級	予報確率	3か月	7月	8月	9月
多　い	+5	:　:70				
	+4	:　:60				
	+3	:　:50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0		●	●	●	
少ない	−1	40:30:30				●
	−2	40:40:20				
	−3	50:　:				
	−4	60:　:				
	−5	70:　:				